

れども幼稚園小學校の兒童にありては斯の如き能力を有せざるなり。故に不満を感ずるも之を訴ふるの途を知らず。空しく之を忍びて終ればなり。故に局に幼稚園小學校に當るものは一層本論の必要を催がす所以なり。

雜 錄

女子高等師範學校彙報

▲臨時教員養成所 先般大學其他に設けられたる

▲臨時教員養成所廢止せられ、新に同校内に英語科

▲臨時教員養成所設けられたる由。

▲家事専修科 去る四月四日施行せられたる同科

入學試験の結果合格の上入學したるものは三十名

なりと云ふ(志願者二〇七名)左に記するは其試験

問題なり。

國語科

(二時間)

○解釋

(注意) 全篇ヲ通釋シ別ニ傍線ヲ引キタル字句ヲ

皇后陛下の御學問御盛徳等の事につき我等臣民の夙に傳承して感佩し奉る所固より枚擧に違あらず今ここに友人より傳聞し又嘗て御側に咫尺して伺ひ奉りたる事の一條を述ぶべし

福羽美靜君余に語りて曰はく陛下には夙に女四書を御閲讀遊ばされたるものと見えて御前に伺候する人人に女四書にかくかくの事ありと仰せらるることあり……

抑、陛下の御盛徳は天稟の然らしむる所にして謂はゆる生知安行とも申し奉るべき事なるべけれども加ふるに御教育の御助ともなることありて聖益、聖といへる如き御聖徳に達したまへるものならむ即ちこの女四書の如きもその御教育の御助となりたるもの一つなるべしと察し奉らるる(細川男爵書記の文による)

○文法

- (一) 助動詞が動詞に連続する方法を詳記せよ
- (二) 左の語につきて知れることを記せ

さく ばかり まじ

數學科

(二時間)

- (一) 羅列「ナード」の復五圓、十圓カナル時、其羅列線ニ一尺ノ復回線ニ當ルカ但「ナード」ヲ3.018尺トシテ計

算七三

- (2) 次ニ裁クルニツノ数ノ最少ニ倍數ヲ求メヨ  
319, 377, 429.
  - (3) 甲乙丙三人ノ農夫アリ田ヲ耕スニ甲ハ四坪ヲ耕ス間ニ乙ト丙トハ協力シテ七坪ヲ耕シ乙ガ三坪ヲ耕ス間ニ丙ハ二坪ヲ耕ストスルニ甲ガ一畝ヲ耕ス間ニ丙ハ何程ヲ耕スベキカ
  - (4) 利子繰込ニシテ期限チ一年トシテ年利八分元金七百圓ノ二年八月間ノ復利ヲ求メ
  - (5) 或人時計ト銀トヲ買ヒタルニ其定價合セテ百二十五圓ナリシガ時計ハ一割減ハ五分ノ直下ダチナシタルガ爲メ都合百十四圓六十錢ヲ拂ヘリト云フ時計及銀ノ買價各如何
- (2) ノ問題ニ就キテハ運算、答ヲ記シ 其他ノ問題ニ就キテハ運算、答ヲ記スベシ
- 理科 (二時間)
- (一) 雙子葉植物と單子葉植物とは花の構造上に如何なる區別を有するか
  - (二) 動物界中最大なる部門の名稱を擧げよ
  - (三) 肺臓及び腎臓の生理作用を記せ
  - (四) 沸騰點と壓力との關係如何
  - (五) 密閉したる器中にて木炭又は硫黃を燃やしたる後器内に存する總ての物質を記せ
- 裁縫科 (三時間)

(一) 幅一尺六寸五分の表地を以て女綿入無垢一枚ヲ普通寸法に裁つには其用布の總丈何程を要するか

右の裁ち方を圖解し之に各部の名稱及び寸法を記入すべし  
與ふる所の材料品にて四ツ身綿入の左の前身を裁縫せよ  
但し其寸法は丈を實物の二分の一とし幅を實物通りとし  
袖を五分となすべし

▲保育實修科 豫て募集中なりし同科生は本月初旬入學を許可せざる、筈にて四ヶ月の定期修業後見込次第本人の都合若くは奉職口の都合に依り隨時卒業せしむる筈にて重に地方幼稚園の主任保母として配置する見込の由、斯く今後の卒業、時を定めざるが故に地方需用の模様により欠員は後を逐ふて生ず可く従つて今後の入學者は期を定めず志願者の有り次第、欠員の生ずるに從ひて補充入學を許さる、由なれば入學志願者は豫め願書を提出し置く方都合よかる可し。

同科は右の如く極めて自由なる修養の方法なれば

本年九月以後は從來の如く地方の幼稚園にて主任  
 保母の欠乏に困ずるか如き事はなかる可く高等女  
 學校の卒業生も新に最も適當にして最も愉快なる  
 職業を見出し得るに至らん

▲教師の轉任 學習院の改革に付き全女學部に多  
 數教官の更迭ありたる結果、當附屬小學の木内  
 成氏は、全院教授に榮轉し、其後任として吉川ふ  
 み子來任したり。此他附屬小學の阿部田、小柳二  
 氏は辭任し、中井氏は附屬高等女學校に轉せられ  
 しより、新に藤岡、常光、大原の三氏就職せり、  
 又附屬幼稚園には、平山久氏の後任として小柳雪  
 子來任し、又田邊春子は病氣に由りて辭職せられ  
 たり。

●學習院の改革 去る九日華族就學規則並に學習

院學制同官制同規則の公布あり。十一日より從來  
 の華族女學校を學習院に併合せられたり。抑も學  
 習院設立は明治十年にしてそれより明治十七年七  
 月華族女學校設立のことを決し給ひ翌十八年九月  
 學習院女子部を廢し華族女學校設立の旨を達せら  
 れ同年十一月三十日皇后陛下行啓令旨を賜ひたり  
 是れ即ち華族女學校開始の紀念日にして、爾來廿  
 二年の星霜を経たり、然るに昨年學習院の學制規  
 則改正あり、一大刷新を圖りしに次て、華族女學  
 校も亦今般復舊して、學習院に併合し、學習院女  
 學部と稱するとなりたるなり。程度は従前より  
 も高まり、文部省直轄高等女學校と同等にして、  
 最上級の専修科を専門とし、普通學年を短縮し、  
 高等學科の年限を長くしたり。皇后陛下には特に  
 左の令旨を賜へり。

此度その校を學習院に併合せらるゝは、時を度り宜を制して、教務を統一せしめ給はんとの聖慮なるべし。教育の旨趣にありては、いさゝかも従前と異なる所なければ、在學の生徒は、よく其旨を奉體し、ますます學藝を勵み、婦徳を修めて、女子の本分を完くせんことを努めよ。

●文部省と諮問案の説明 來る五月五日より三日間開催せらるゝ全國學校教員會議に對し文部省より諮問案を提出せることは既報の如くなるが尙此程文部省より左の説明書を提出せり

第一問 尋常小學校一學年の兒童に修身書を持たしむるの可否  
說明 趣旨明なりと認むるにより略す

第二問 尋常小學校に於ける一回の授業時間及休憩時間は何程を以て適當となすか但し毎週教授時数は現行規定に依る  
說明 小學校に於ける各教科目の毎週教授時数は明かに小學校令施行規則の定むる所なれども如何に之を毎日に配當すべきか又毎日の總時間を何回に分割して教授すべきかは教育上研究を要する所なり然るに從來一般の慣例に依れば概れ一時

間限とし之れを授業時間と休憩時間とに配當するを常とせり是れ果して適當の方法なるか本問は此の點に付き學級編制の如何學年の上下教科目の種類等に依り最も合理にして且實行の容易なる時間配當法の答案を得んことを期す

●小學兒童の健康調査 文部省囑托隣野河氏は此程小學兒童の健康に就き調査せしが左の如き状態にありと云ふ

小學兒童百人比例不健康者

検査人員	不健康者
三十三年	七十二人九四
三十四年	七十六人九五
三十五年	七十六人九五
三十六年	七十六人九五
三十七年	七十八人七一

斯の如く不健康者の増加する原因とも見るべきは一は醫術の進歩に伴ひ體格検査の緻密に赴くにもよるべけれども、又往年文部省の學校衛生課廢止の爲め、各學校に對する衛生事項の、監督不行届

によるべしと云ふ、而して此適例は昨年京都に於ける某學校生徒を、治療手遅れの爲め失明に歸せしめたる如き、又畿内地方の某師範學校に傳染病發生したる折、應急手當の遅延せし爲め多數の患者を出したる等、其他多々ある由なり、右は一般の不健康者の調査なるが、更らに恐るべきは、近來小學兒童間に眼疾の流行することにして、其の統計は

小學兒童眼疾者百人比例

年度	男	女
三十三年	一七、八〇	一八、六八
三十四年	一八、八一	一九、八二
三十五年	一九〇六	一九、六七
三十六年	一八、八〇	一九、七五
三十七年	二〇、三〇	二一、五四

右の如き惡結果を見たる原因は、一概に推測するを得ざるも、一には浮塵豫防及採光設備の不完全

なると、又一には各兒童の指頭の不潔なるを注意せざる、教員の怠慢なりと見るを得べしと云ふ。

●臺灣の女子教育 今回本島女子の爲に總督府國語學校第二附屬學校を設けて新に女子教育の門を開かれたるが目的は師範教育、技藝教育を施すにあり修業年限は師範及び技藝科は三ヶ年、師範速成科は二ヶ年、入學の資格は師範及び同速成科は年齢十四才以上二十五才以下公學校卒業者又は之と同等以上の學力あるもの技藝科は十三才より二十五才にして公學校四學年の課程修了者或は之と同等

●元良博士の總會演說 元良文學博士は去廿一日の總會に於て其教育所感を演說せられたり其詳細は次號に掲載す可けれど今其要點を摘記すれば左の如し。

明治初年の教育は兒童の程度や腦力の如何を斟酌するなど、云ふことなくし、豫定の詰込み主義を遂行したるものなれば多少無理なる節もありしが學力優秀なるもの可なりにかかりき。然るに教授法は進歩し兒童心理學勃興し教育の施設大に備はりて兒童學習の便宜頗る多大となれる今日は昔日の如き勉學の困難全く去りしと共に兒童の腦力は常に平易の仕事に慣れ其學力は漸次低下し行さつゝあるは誠に遺憾の事と云はざる可らず。惟ふに醫學の進歩が漸次衛生呼ばりの聲となり、彼も不消化是も不消化と唯徒に消化し易きもののみ食せしむる結果會々僅かの不消化物に遭遇するや忽ちにして消化不良、腸胃可多兒等を起すと一般に教育學教授法の進歩は徒に兒童の腦力を軟弱に慣れしむるの嫌なきかを疑ふ云々。次には兒童

の記憶は余の經驗に因りて見るも六才以前のものを生長後迄に把握するを難し之に因りて見るに教育は六才以前には重んず可からずして其甚重んず可は習慣にある可きか云々、尙終りに教育が兒童を取扱ふ傍ら之を實驗の材料として種々試験を行へると一時流行し爲めに多少批難の聲を聞きたれど然し是は全然廢す可きものにあらず寧ろ醫師が病人を治療する傍ら常に之を研究の材料とするが如く教員は平素教授の際注意して研究材料を蒐集するの必要ありと信す云々等なりと。

●料理并に禮節の開祖　來る五月十一日日本橋南際萬町常磐木俱樂部に於て石井泰次郎氏其他の發起にて料理開祖中納言山蔭卿の千年祭を執行し祭式庖丁式料理製作品陳列等ある由全十二日全所に於て近世禮節小笠原開祖水島之成翁二百年祭を

執行し小笠流元祿式手藝品、婚禮式と結飾、包物、花結百種、水引、春夏秋冬花結等の陳列ある由當日午前十時より午後五時迄の中に本會々員たる名刺御差出の方は隨意縦覽し得らる、由同氏より申越されたり。

●前號の行の遅延に就て

卷を重ねる六、月を閲みすると六十四本誌は遂に一大改革を斷行するの時期に達し候事誠に快絶の儀に御座候ひき記者また筆硯を新にして益斯界の爲めに盡くす可く覺悟罷在候然るに前號は製版の遅刻其他種々なる事情の爲めに遂に例月の發行期日に間に合ひ申さず發送亦意外に手間取て中には在京會員諸君にして總會の廣告御存知之なき方も御座候ひし由何とも申譯なき次第にて役員一同並に弘道館主の深く陳謝する所に御座候

尚本號以下は準備全く相整ひ候に就き引續き従前通り發行致す可く候に付此儀御諒察下され度候頓首

尚序に編輯員は前號の口繪に名前を取り落したることを茲に御詫び申候該口繪上圖は女子高等師範學校作法教室の景、下圖は同附屬幼稚園三の組室内の景に御座候

會報

●第十一回總會集會 本會第十一回總會集會は豫告の通り去る四月廿一日女子高等師範附屬幼稚園に於て舉行せられたり、當日雜誌發送遅延の爲め總會廣告間に合はざる事もやあらんかと懸念したるに案の定雜誌不着の向き尠なからざる由にて大に恐縮しぬ。然れど幸に例日の事とて問合はされ聞